



奥州祭の屋外イベントで本市をPRする小沢市長

市は、本県への訪問外国人に占める割合が高く、市の偉人である後藤新平とも深い繋がりのある台湾からの訪日旅行需要を取り込むため、岩手県奥州祭を3月4日と5日、奥州市物産展を同月4日から26日にかけて台湾の台北市「統一時代百貨台北店」で開催しました。

オープニングセレモニーで小沢昌記市長は「台湾の皆さまに慕われた後藤新平が築いた縁をきっかけに、今後、観光・物産・教育・文化交流に発展していきたい」とあいさつしました。

台湾との交流を皮切りに世界へ奥州を発信



「上を向いて歩こう」に合わせて観客も手拍子で参加

前沢診療所癒しのコンサートを3月14日、同診療所を会場に開催しました。盛岡フルート・オカリナアカデミーの中島誠一代表を招いた初めての催しに、同診療所やさわやか健康センターの利用者、地域住民など約100人が来場しました。

中島代表は「メロディに力のある曲を選んだ」と楽曲の背景やストーリーを紹介。カーペンターズの「トップ・オブ・ザ・ワールド」や、森山直太郎の「さくら（独唱）」など7曲を演奏し、観客はフルートとオカリナの美しい音色に耳を傾けていました。

癒しの音色が心と体を包み込む



協定書を手にする井本市長（左）と小沢市長

市は3月23日、福岡県大野城市との災害時相互応援協定の調印式を市役所で行いました。この協定は、大規模災害の発生時に被災市が応急対策などを円滑に行えるよう、職員派遣や物資の提供など相互に応援を行うために必要な事項を定めたものです。

大野城市として初めての自治体間の災害時応援協定に、井本宗司市長は「熊本地震で備えの必要性を再確認した。協定は非常に心強い」と述べると、小沢昌記市長は「お互いの安心安全の要になる素晴らしい協定」と今後の協力と交流に期待を込めました。

大野城市と災害時相互応援協定を締結



工事の安全を願いくわ入れする小沢市長

衣川総合支所の庁舎移転新築工事安全祈願祭が3月25日、衣川保健福祉センター西側の建設予定地で行われました。衣川総合支所は、使用していた旧衣川村役場庁舎が平成23年の東日本大震災で大きく損傷し危険建物と判断されたため、同年5月から衣川保健福祉センター内で業務を行っています。

小沢昌記市長は「新庁舎は防災拠点としての機能強化を図り、それを発揮できるように整備していく。安全を第一に建設していただきたい」と無事完成を願いました。新庁舎は30年4月の開庁を予定しています。

衣川総合支所庁舎の移転新築工事が着工

みずや 城下町水沢に春到来告げる くり雛まつり

第16回くり雛まつり（奥州くり雛まつり実行委員会主催）がメイプル催事場をメイン会場として、3月1日から5日まで開催されました。水沢地方伝統のくり雛の普及と継承を目的としたこのまつり。優雅なくり雛が、訪れた来場者の目を楽しませていました。

陸前高田市から水沢区へ移住した片野千代さん（84）は「流れる音楽がひな壇の風情と重なり心地良かった。可愛らしい表情につられ“こんにちは”と声を掛けた」と幼少期のひな人形の思い出とともに語ってくれました。



暖かな雰囲気の中は、春の訪れを感じさせる



案山子に遭遇した鹿の一家。親鹿が口で笠を取り人間ではないと正体をあばく

いっや 50年つなぐ郷土芸能の祭典 胆沢郷土芸能まつり

第50回胆沢郷土芸能まつりが3月12日、胆沢文化創造センターで開催されました。昭和42年に旧胆沢町制施行記念事業の一環としてスタートし、以後途切れることなく続けられている同まつり。半世紀の節目に地域の伝統芸能を継承する8団体が出演しました。

50分間の「案山子踊」を初めて省略せず演じた行山流都鳥鹿踊保存会（高橋勇人会長）の千田則幸さん（55）は「拍手が起こりホッとした。今後も機会を作って踊り次代に引き継いでいきたい」と笑顔を見せていました。

みずや 防災と地域の活性化を祈る 羽田町火防祭

鋳物屋台が練り歩く羽田町火防祭が3月26日、水沢区羽田町の本町通りを会場に開催されました。鋳物で作った囃子屋台「羽田町剣ばやし」にお人形さんが登場し、木遣り唄や鳴り物の音律の奏でとともにまちに春の訪れを知らせました。

鋳物屋台を運行した33歳厄年闘舞伝の及川良会長（31）は「父の時代は100人いた厄年の仲間も、こころは50人。小さな力でも結集し、地元羽田の祭りを守っていきたい」と伝統を受け継ぐ決意を語りました。



力と気持ちをそろえる木遣り唄が羽田のまちに響いた



左から菊池美佳さん、菊地夏美さん、鈴木明香里さん

えさし 溢れる笑顔でまつりをPR 江刺甚句むすめ委嘱状交付式

5月3日、4日に開催される第44回江刺甚句まつりのPR活動を行う「江刺甚句むすめ」に3月27日、江刺総合支所で委嘱状が交付されました。菊池美佳さん（24）＝江刺区梁川出身＝、鈴木明香里さん（24）＝同岩谷堂出身＝、菊地夏美さん（24）＝同田原＝の3人で、前年の25歳年祝連熾風陣から選ばれました。

着物姿の3人は「小さい頃から大好きなお祭り。たくさん笑顔が見られるよう、笑顔で頑張ります」と祭りの成功に向け抱負を語りました。